

2025 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工芸科学部/工芸科学部 : /School of Science and Technology/School of Science and Technology	今年度開講/Availability	/有/有 : /Available/Available
学域等/Field	/全学共通科目/全学共通科目 : /Program-wide Subjects/Program-wide Subjects	年次/Year	/1 年次/1 年次 : /1st Year/1st Year
課程等/Program	/基盤教養科目/人間教養科目(2023 年度以前入学者) : /Liberal Arts/Liberal Arts(Course for students enrolled before 2023 academic year)	学期/Semester	/前学期/前学期 : /First term/First term
分類/Category	//基本教養 : //Foundations in Liberal Arts	曜日時限/Day & Period	/集中 : /Intensive

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	10119915			
科目番号 /Course Number	10160309			
単位数/Credits	2			
授業形態 /Course Type	講義・演習 : Lecture/Practicum			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	時事問題で学ぶファシリテーション（リベラルアーツ・ゼミナール） : Facilitation on Current Topics (Liberal Arts Seminar)			
担当教員名 / Instructor(s)	/(居神 浩) : IGAMI Ko			
その他/Other	インターンシップ実施科目 Internship	国際科学技術コース提供科目 IGP	PBL 実施科目 Project Based Learning	DX 活用科目 ICT Usage in Learning
			○	○
	実務経験のある教員による科目 Practical Teacher			
科目ナンバリング /Numbering Code	B_PS1220			

授業の目的・概要 Objectives and Outline of the Course	
日	ファシリテーションとは、多様な考え方をを持った他者との対話を重ね、その対話から生まれる知的な相互作用を促進するためのコミュニケーションスキルである。 本ゼミナールでは、高校の新課程科目である「公共」をベースに、一義的な回答が定まらない時事問題をいくつか取り上げ、ファシリテーション・スキルの向上を目的としたグループディスカッションを行う。 授業の主な目標は以下の2点である (1) 時事問題に関する「講義」、「グループディスカッション」、「小論文の執筆」、「プレゼンテーション」を組み合わせることで、主体的、対話的で深い学びを目指す。 (2) 多様な考え方をを持った三大学の学生と、大学の枠を超えて、交流しながらファシリテーション・スキルを学んでいく。 *「講義」と言っても、一方的に話し続けるのではなく、受講生にいろいろと問いかけたり課題を与えたりするので、そのつもりで臨んでください。 今年度取り上げる時事問題はテキストのなかから、「法・政治的課題」として「若者の選挙離れ」「なくならない差別」「異議申し立ての大切さ」、「経済・社会的課題」として「負担と福祉のあり方」「地方再生」「校則改革」などを予定しているが、受講生から取り上げてほしいテーマがあれば適宜代替する。
英	

学習の到達目標 Learning Objectives	
日	多様な考え方をを持った他者と対話を重ねることができる

	一義的な回答が定まらない時事問題に辛抱強く取り組むことができる 専門を異にする他学部の学生とコミュニケーションを取ることができる
英	

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)	
日	
英	

授業計画項目 Course Plan			
No.		項目 Topics	内容 Content
1	日 英	第1回	まずはアイスブレイク！ 「他己紹介」と「グループづくり」
2	日 英	第2回	講義 ①「見方・考え方」の基本としての「共和主義」「リベラリズム」
3	日 英	第3回	講義 ② 社会的課題を解決するための「公共的空間」
4	日 英	第4回	講義 ③ 法的・政治的課題を考える
5	日 英	第5回	ワークショップ ①若者の選挙離れ
6	日 英	第6回	ワークショップ ②なくならない差別
7	日 英	第7回	ワークショップ ③社会運動への参加
8	日 英	第8回	ワークショップ ④受講生のなかでテーマを決めて
9	日 英	第9回	講義 ④ 経済・社会的課題を考える
10	日 英	第10回	ワークショップ ⑤負担と福祉のあり方
11	日 英	第11回	ワークショップ ⑥地方再生 or 学校改革
12	日 英	第12回	ワークショップ ⑦受講生のなかでテーマを決めて
13	日 英	第13回	小論文執筆 これまでのワークショップのなかから一つのテーマを選んで
14	日 英	第14回	プレゼンテーション 小論文の内容の発表
15	日 英	第15回	ワークショップ ⑧これまでのワークショップを振り返って

履修条件 Prerequisite(s)	
日	【履修対象】 1. グループディスカッション、ファシリテーションの実践を積みたい学生 2. 時事問題について同世代と深く考えてみたい学生 3. 三大学の学生と交流しながら、時事問題を学びたい学生 【履修条件】 1. グループワークやプレゼンテーションを取り入れた学びに積極的に取り組めること。 2. ディスカッションのルールをきちんと守れること。 3. 集中講義（1日3コマ×5日間）に耐えられること。
英	

授業時間外学習（予習・復習等） Required study time, Preparation and review	
日	予習は授業で指示するテキストの範囲をしっかりと読んでおくように。復習については毎回、授業で出てきた論点や質問に関連する文献等を紹介する。 本講義に対しては、67.5 時間の予復習に充てる自己学習時間が必要である。
英	

教科書／参考書 Textbooks/Reference Books	
日	渡部 竜也『大学の先生と学ぶ はじめての公共』（KADOKAWA、2024 年、1760 円、ISBN：978-4046069498）＊電子書籍版でも構いません →第 1 回授業までに第Ⅰ部「公共の扉」の各章をよく読んでおいてください。
英	

成績評価の方法及び基準 Grading Policy	
日	本講義は、ゼミナール型授業であるため、発表と課題の提出を重視する。
英	

留意事項等 Point to consider	
日	＊ワークショップのテーマは受講生からの要請に応じて適宜変更可能です。 また一つのテーマを何コマにわたって掘り下げていくこともできます。 本科目は、三大学の学生が交流しながら学ぶ「少人数ゼミナール形式」の授業である。
英	